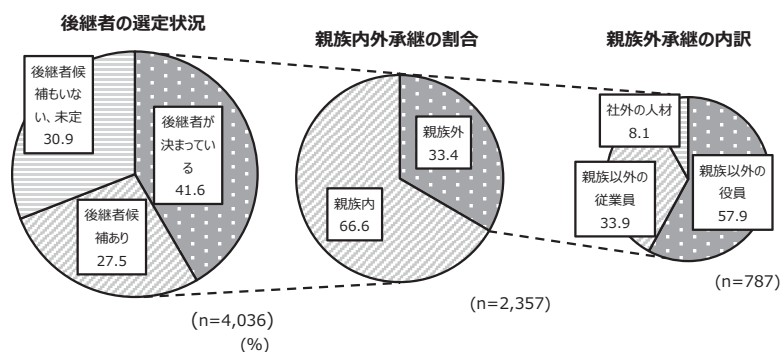
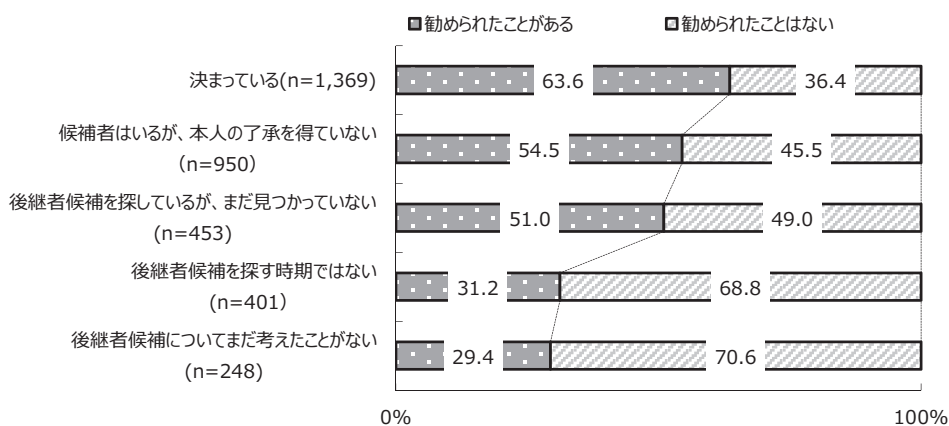


に当たっては課題が多く、対策・準備が進んでいません。そのため、専門家と連携しながら多様な課題に対応できる支援体制の構築が必要であること、廃業の際、自社の事業や資産を他社に譲りたいと考えている者もいるため、こうした経営資源が次世代に引き継がれる循環を形成していくことが重要です。

■ 後継者選定状況・親族外継承の現状(中規模法人)



■ 後継者選定状況に見た、経営や資産の引継ぎ準備を勧められた割合



新事業の展開の促進

新事業展開については、経営資源に限りのある中小企業においては、今後の成長に向けて、外部リソースの活用も視野に入れながら新事業展開を積極的に実施していくことが重要です。IoT等の新技術やシェアリングエコノミーといった新たな経済の仕組みについて、活用している企業は少ないものの、売上高増加や業務コスト削減等の効果を感じていることから、中小企業にとって成長の機会につながることを示しています。

■ 新事業展開の成功、不成功企業別に見た課題

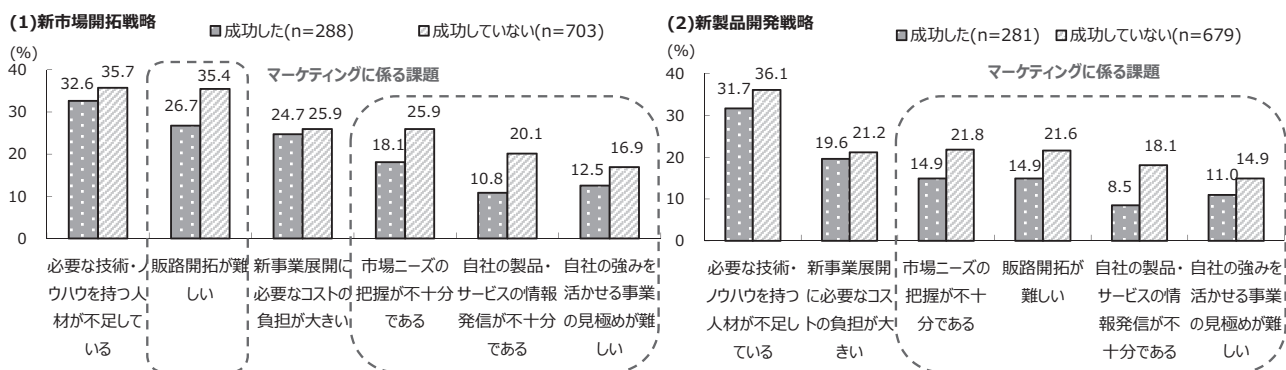


図1-3: 中小企業庁委託「中小企業の成長に向けた事業戦略等に関する調査」(2016年11月、(株)野村総合研究所)